

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相	相對密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	標準貫入試験					原位置試験	試料採取		掘進		
											深	10cm毎の打撃回数			N値		深	試験名及び結果		深	採取
												度	0	10							
m	m	m	m	図							m			m	号	法	日				
	14.43	0.50	0.50		硬凝り粘土(硬土)	褐			埋土。近隣の第三紀風化土を主体。少量の石灰岩礫及びコンクリート片を混入する。部分的に木片炭化物及び腐植物を混在する。孔中～高含水比。軟質。沖積層新期埋積層。全体に第三紀風化粘土主体による二次堆積層。高含水比で軟質。上部に植物根を混在する。下部に従い風化泥岩礫の混在が見られる。		10/13 1.32	1.15	3	2	2	7/30					
					粘土	灰褐						1.45									
												2.15	3	3	3	8/30					
												2.45									
												3.15	3	3	4	10/30					
	10.93	3.50	4.00		風化泥岩	灰			第三紀島尻層群。泥岩風化堆積部。上部より吸水軟化し風化変質進行する。所々に亀裂を有し、亀裂面は酸化褐色を成す。風化した亀裂面には細砂をシーム状に介在する。中含水比。			4.15	2	2	3	7/30					
												4.45									
												5.15	3	5	6	14/30					
												5.45									
												6.15	5	5	4	14/30					
												6.45									
												7.15	6	6	7	19/30					
												7.45									
												8.15	3	6	7	16/30					
												8.45									
	5.53	5.40	9.40		泥岩	暗灰			第三紀島尻層群。泥岩新鮮部。全体に低含水比で非常に堅固な層相を示す。所々に凝灰質砂岩(ニージ)層をシーム状に介在する。			9.15	9	15	18	42/30					
												9.45									
												10.15	18	20	12/6	50以上					
												10.41									
												11.15	16	27	7/2	50以上					
												11.57									
	2.93	2.60	12.00									12.15	19	27	4/1	50以上					
												12.36									